

Title	藝文研究既刊総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1959
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.9, (1959. 12) ,p.151- 153
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00090001-0151

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 既刊総目次

◇第一号（一九五一年）美術学特集

- 創刊の辞……………西脇 順三郎
 ミケルアンジェロの聖母……………守屋 謙二
 光琳肖像考……………菅沼 貞三
 江戸板木絵第一回の開花期……………波井 清
 播磨国常福寺裏山経塚出土品に縁つて……………保坂 三郎
 大仏師康助の遺作に就いて……………岡 直己
 Palazzo Pitti——その原作者の問題について——……………相内 武千雄

◇第二号（一九五二—三年）

- 物語の成長——宇津保物語の場合——……………池田 弥三郎
 俳諧月花の座……………清崎 敏郎
 ジョン・セルデンのこと——その「茶話」をめぐ……………藤井 昇
 シュリアン・グリーンの内心の旅路……………佐分 純一
 ブッデンブロオク以前……………江沢 建之助

西ドイツ文学活動の展望……………田中 次郎

彙報

◇第三号（一九五四年）

- 実用の文学——女と花……………森 武之助
 住吉物語以後——継子奇め譚の類型に関する一考……………松本 隆信
 察……………藤田 祐賢
 聊齋志異研究序説——特に蒲松齡の執筆態度に就いて……………安原 基輔
 Gentle Tradition の崩壊……………大浜 甫
 アンドレ・マルロオの「孤独」……………八代 修次
 北野天神縁起絵巻の諸特徴……………高橋 文雄
 クライストの悲劇性……………高橋 文雄

◇第四号（一九五五年）

- 伝統の周囲——芭蕉・西鶴……………森 武之助
 寺院僧侶の国典研究——主として中世をとりあげて……………佐佐木 二雄
 曾我物語伝承論……………塚 崎 進
 紅楼夢の小説性——周汝昌の「紅楼夢新証」をめぐつて……………村 松 暎

若きヘッセの人生態度乃至世界観……………井手 貴夫

反抗と絶望の黒人作家——Richard Wright——…安原 基輔

現代英文法の諸傾向——特に口語法について——…原沢 正喜

折口信夫教授講義題目……………原沢 正喜

慶応義塾大学所蔵聊齋志異関係資料目録

彙 報

▽第五号（一九五五年）

好色五人女——成立をめぐる試論……………檜谷 昭彦

近松世話物の考察（序）……………鈴木 昇

曾我物語伝承論——その二……………塚 崎 進

紅樓夢論争に対する批判……………村 松 暎

トーマス・マンのゲーテ観——「ヴァイマルのロ

ッテ」を中心として……………小名木栄三郎

対話文学としての「ラモーの甥」——デイドロ研

究序説……………原 宏

資料紹介——「東洋之佳人」稿本、「絵入読本外題

作者画工書肆名目集」写本……………森 武之助

彙 報

◇第六号（一九五六年）

明恵上人説話考……………佐佐木 一雄

稿本聊齋志異考勘記……………藤田 祐賢

曾国藩について……………佐藤 一郎

中国に於ける品詞分類の標記について——〃漢

語詞类論争〃の問題点……………川本 邦衛

シユリーにおける神の問題……………瀬下 良夫

リルケ文学解明におけるハイデッガーの誤謬……………塚 越 敏

アルベール・カミュの思想と風土について（ジャ

ン・グルニエとの比較による一考察）……………片桐 邦郎

彙 報

◇第七号（一九五七年）

野守鏡にみられる宗教性……………佐佐木 一雄

おせんとおさん——西鶴の場合……………竹重 信幸

ヘルマン・ヘッセに於ける東洋思想概観……………飯田 国男

アンドレ・ジッド「ユリアンの旅」の成立につい

て……………若 林 真

ラシーヌの“La Thèbaïde ou Les freres

ennemis”にじつ……………佐 藤 真

イニエツと能・序説“*At the Hawk's Well*”

と「The Only Jealousy of Emer」に關す

る考察を中心として……………石橋 裕

曾國藩と俗文學……………佐藤 一郎

Plautus における感嘆及び疑問の ut 十直説法又

は接統法の使用について……………藤 井 昇

資料紹介——炎涼岸・女開科伝・知不足齋原本批

点聊齋志異……………藤田 祐賢

書評——Erwin Panofsky's, Early Nether-

landish Painting —— its origins and

character……………八代 修次

彙報

◇第八号（一九五八年）慶応義塾創立百年記念

小沢蘆庵論……………香川 景松

源氏物語における「いろごのみ」の概念……………西村 亨

もうひとつの忠臣蔵——四谷怪談考……………仲井 幸二郎

伊勢物語真名本に就いて……………伊藤 哲夫

内部の論理——ロマン主義詩学の興起にかんする

一考察……………由良 君美

シエクスピア喜劇に於ける扮装……………鈴木 周二

バルザック「ルイ・ランベール」について……………高山 鉄男

「ブルネレスキの穹窿」……………相内 武千雄

浮彫の種類について……………海津 忠雄

ツァワン著聖成吉思可汗の金言……………田中市郎衛門

彙報

編 集 後 記

◎本号も特定の主題に限らない研究業績の集積である。

◎本号より、彙報中の会員消息の記述は、グループの研究活動に重点をおくこととした。そのため個人の業績は単行本並びに学会誌への発表の他はすべて割愛することとした。初めての試みであり不備の点は御容赦願いたい。

◎第一号、第八号の購入御希望の方は、本会事務所に御照会をこ
う。(各号定価二〇〇円)